

教学半也

令和8年6月26日

No. 5

全ての読者対象

第1回研究主任研修会 令和8年5月21日(諏訪・上伊那地区) 25日(下伊那地区) 一人ひとりの学びを叶える教育の実現を目指して

「子どもを真ん中にした学校改革・授業づくり」と、それを支える職員集団を目指す「職員同士の関係づくり・対話」について考えました。

【子どもが主役となる学校行事や授業の実践紹介】(TOCO-TON実践校の発表)

【A校の実践の一例】学校行事の内容精選

- ・子どもたちの「やりたい」を実現
- ・「焼き芋集会の改革」
- ・「Oからつくる運動会」

子どもに委ねる勇気と覚悟が求められるが、自分たちで決めたことを自分で決めた方法で探究的に取り組み、主体性を伸ばしていく。

【B校の実践の一例】日常の授業研究会の変更

- ・学校経営ビジョンを研究会の進め方にも反映
- ・指導案の検討→「子どもの姿」を語り合う時間
- ・子どもたちの写真を見ながらのチーム支援検討
- ・気軽に授業参観できるスタンプラリーの導入
- ・感想はファンレター、提案は放課後に直接伝えるなどの工夫

子どもの「やりたい」の実現に向けて探究的に取り組む中で、どの子にも居場所があるインクルーシブな教育を進めることが大切だと感じました。



【皆で取り組む校内研究を目指した情報提供とテーマ別グループ対話】

【参加者の振り返りから】

職員同士の関係づくり

日常の声かけを互いに重ね合い、外から見ている「オーディエンス」の状態ではなく、コートの内側へ皆が少しずつ入っていく関係づくりを意識したい。

コーチング力

研究主任はトップダウンで正解を押し付ける役割ではない。先生方一人ひとりの内なる願いや「やってみたい」を大切にするための問いかけを意識していく。

ファシリテート力

研修のグループワークで体感したファシリテーション技術を活かし、全員が当事者意識を持って活発に発言できる協議の場をデザインしたい。

カウンセリング力

相手の困り感を否定せず、表情や声のトーンにまで意識を向けてありのままを受け止めることで、安心して本音を語り合える職員室の土台作りを大切にしたい。

情報発信力

複雑な研究目標を全職員で共有しやすい魅力的なキーワードに落とし込み、ワクワクする子どもの学びの姿を熱量をもって先生方と共有していきたい。

学校改革や研究の推進、授業づくりには、職員の「同僚性」が欠かせません。研究推進の中核となってくださっている研究主任の先生方の振り返りにある5つの力は、全職員に必要な力ともいえるのではないのでしょうか。



第2回
全国学力・学習状況調査の
結果から学校改革へ

諏訪・上伊那
下伊那
3地区合同開催

8月21日(金) 14:00~
オンライン開催

【対象】

研究主任や副主任、研究部会主任 研究係等参加希望者
(複数による参加可能)

【出欠確認(1学期の取組アンケートを含む)】

第2回研究主任研修会の要項は、夏季休暇をはさむため通常より早めに送付します。メールにて送付する開催要項に記載する二次元コード、または、URL から回答してください。

【回答期限】 7月17日(金)まで